

# 事業概要

令和5年度



SINCE 1912  
SHOTOKUKAI

社会福祉法人 昭徳会  
ケアハウス湯山安立

# 目 次

1	基本理念・基本方針・行動指針	1
2	施設の概要	2
(1)	施設の概要	2
(2)	事業の目的	2
(3)	規模及び構造	2
3	組織の概要	3
(1)	組織図	3
(2)	職員配置	3
(3)	会議及び委員会	3
4	入居者の状況	4
(1)	認定状況	4
(2)	男女別年齢状況	4
(3)	入居前の居住地	4
5	令和4年度事業報告	5
(1)	令和4年度利用状況一覧	6
(2)	入居者の状況	7
	入院者数及び入院延べ日数	7
	疾患別入院状況	7
	内服薬の変化	7
	水分摂取の状況	8
	歩行の状況	8
	給食の状況	9
	回想法実施状況	9
(3)	年間行事実施状況	10
(4)	月間予定表	10
(5)	地域交流事業	11
(6)	防災訓練実施状況	11
(7)	会議及び委員会報告	12
(8)	職員研修状況	13
6	令和4年度決算、令和5年度予算報告	14
7	令和5年度事業計画	15
8	施設内図面	16
9	アクセスマップ	17

# 社会福祉法人 昭徳会 基本理念

## しあわせ 「幸福」

### 社会福祉法人 昭徳会 基本方針

1. ひとりひとりに、思いやりの心をもって接します
2. ひとりひとりを尊重し、その人に合った支援、援助をします
3. ひとりひとりを大切に、まごころで接します
4. わたしたちは、すべての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます
5. わたしたちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます

### 社会福祉法人 昭徳会 職員行動指針

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 第1条 いつも笑顔で接します  | 第2条 謙虚な姿勢で接します     |
| 第3条 同じ目線で向き合います | 第4条 いつも前向きに取り組めます  |
| 第5条 学ぶ姿勢を持ち続けます | 第6条 地域との繋がりを大切にします |
| 第7条 心と身体を大切にします | 第8条 小さな気づきを大切にします  |
| 第9条 チーム力を高めます   | 第10条 感謝の気持ちで接します   |

# 1. 施設の概要

## (1) 施設の概要

### 施設の種別

特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

### 施設の名称及び所在地

名 称 ケアハウス湯山安立  
所 在 地 〒444 - 1332  
愛知県高浜市湯山町五丁目7番地5  
T E L (0566) 54 - 5011  
F A X (0566) 54 - 5012  
E-mail [kea-yuyama@syoutokukai.or.jp](mailto:kea-yuyama@syoutokukai.or.jp)

### 設置主体及び経営主体

社会福祉法人昭徳会

### 事業開始

令和2年4月1日

## (2) 事業の目的

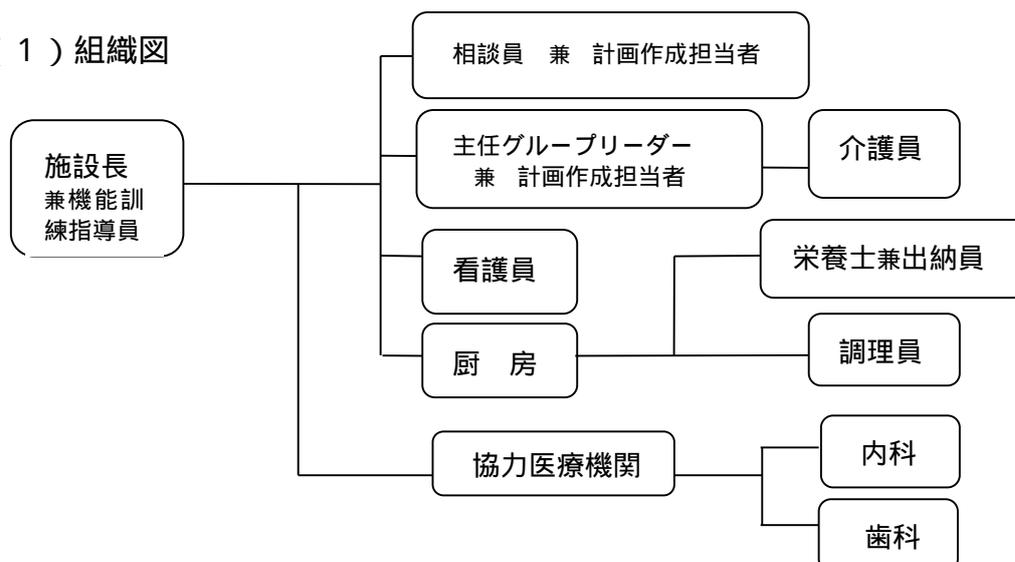
介護保険法に基づき、要支援1から要介護5の介護認定を受けられたケアハウス入居者を対象として、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上のお世話、機能訓練及び療養上のお世話を提供することにより、要介護状態になった場合であっても、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう援助することを目的とする。

## (3) 規模及び構造

入 居 定 員 : 30人  
敷 地 面 積 : 1,218.40 m<sup>2</sup>  
建 物 延 面 積 : 1,817.40 m<sup>2</sup>  
建 物 構 造 : 鉄筋コンクリート造3階建  
付 属 設 備 : 衛生設備、空調設備、電気設備、消防設備  
(土地、建物及び付属設備は高浜市からの貸借物件である)

### 3. 組織の概要

#### (1) 組織図



#### (2) 職員配置

(令和5年4月1日現在)

職務	指定基準 (人)	現員(人)	備考
施設長	1	1	
生活相談員	1	2	介護員が兼務
計画作成担当者	1	2	介護員・相談員が兼務
看護師	1	3(1)	
機能訓練指導員	1	2(1)	看護師等が兼務
栄養士	1	1	
介護員	8	11(4)	
調理員		3(3)	栄養士が兼務
<b>計</b>	<b>14</b>	<b>19(8)</b>	

注:( )は契約・パート職員再掲

#### (3) 会議及び委員会

運営会議	毎月1回	施設長・主任・サブリーダー・相談員・看護師
フロア会議	毎月1回	サブリーダー・介護員・看護師
防災委員会	年4回	施設長・相談員・介護員・看護師・栄養士
感染症対策委員会	年4回	施設長・相談員・介護員・看護師・栄養士
事故防止委員会	毎月1回	施設長・主任・相談員・介護員・看護師
身体拘束適正化委員会	年4回	施設長・相談員・介護員・看護師
介護力向上委員会	毎月1回	施設長・サブリーダー・介護員・看護師
施設全体会議	年3回	全職員

## 4. 入居者の状況

### (1) 認定状況

令和5年4月1日現在

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人 数	男	0	2	2	3	0	0	0	7
	女	2	4	11	2	3	1	0	23
	計	2	6	13	5	3	1	0	30
入院者数		0	0	0	0	0	0	0	0

### (2) 男女別年齢状況

令和5年4月1日現在

	男性	女性
90歳以上	3	8
80～89歳	3	13
70～79歳	1	2
60～69歳	0	0
平均年齢	89.8	87.8

最高年齢 : 101歳

最低年齢 : 74歳

全体の平均年齢 : 88.2

### (3) 入居前の居住地

	男	女	計	比率(%)
高浜市	4	16	20	66.6
安城市	1	1	2	6.6
知立市	0	2	2	6.6
碧南市	1	2	3	10
名古屋市	0	1	1	3.3
西尾市	1	0	1	3.3
一宮市	0	0	0	0
小牧市	0	1	1	3.3
合計	7	23	30	

## 令和4年度 事業報告書（ケアハウス湯山安立）

### 1. 「基本理念」等の実践による質の高い福祉サービスの提供

- (1) 株式会社経営志援により第三者評価を受け、入居者と身元引受人に対してアンケート調査も実施しました。A評価 35項目、b評価 26項目 c評価 0でした。3月の家族会で入居者と家族に対して報告を行い改善点を伝えました。
- (2) ハチドリチャレンジとして、海岸清掃、地域のゴミ拾い、小学校の立哨活動を行いました。また、高浜市が開催したフードドライブやもったいないプロジェクトにも参加しました。
- (3) 福祉避難所であることを町内会の会議で報告し周知を図りました。福祉避難所模擬開設訓練については参加いただくことを依頼し承諾を得ています。職員のみで図上訓練を行いました。
- (4) ナースコールの更新が終了し、離床センサーの活用により夜勤者の不安の軽減につながりました。

### 2. 職員の資質向上とやりがいを感じられる業務体制の構築

- (1) 法人内研修は正規職員全員が参加しました。また、外部研修やオンデマンド研修を活用してパート職員の受講も促しました。全体会議や勤務時間内に研修時間を設けて伝達研修を行いました。
- (2) 介護力向上委員による理論を学ぶ研修については、全職員が参加しミニテストも行いながら理解度を確認することができました。
- (3) 自立支援介護のデータ収集を、介護力向上講習会の一覧表にまとめることで可視化することができ、毎月の委員会で進捗状況を確認し課題を検討することができています。毎月2名の入居者をピックアップし、毎週カンファレンスを開催してPDCAサイクルを回しケアに反映しています。
- (4) 回想法を毎週1回行い、入居者の発言から希望の外出支援をおこなうことができました。おやつ会、納涼祭や花見外出など季節を感じられる内容を心がけ、コロナ禍で自由の少ない生活に楽しみを感じてもらうことができました。
- (5) 9月に初めて家族会を開催し、敬老会と併せて死生観を養う勉強会を行いました。法音寺のお上人の講演と「もしバナゲーム」を実施し、参加者全員が命について考える機会となりました。回想法や自立支援介護については3月26日の家族会で発表し、取り組みについての理解を頂けました。

### 3. 安定した収入と適切な労働管理

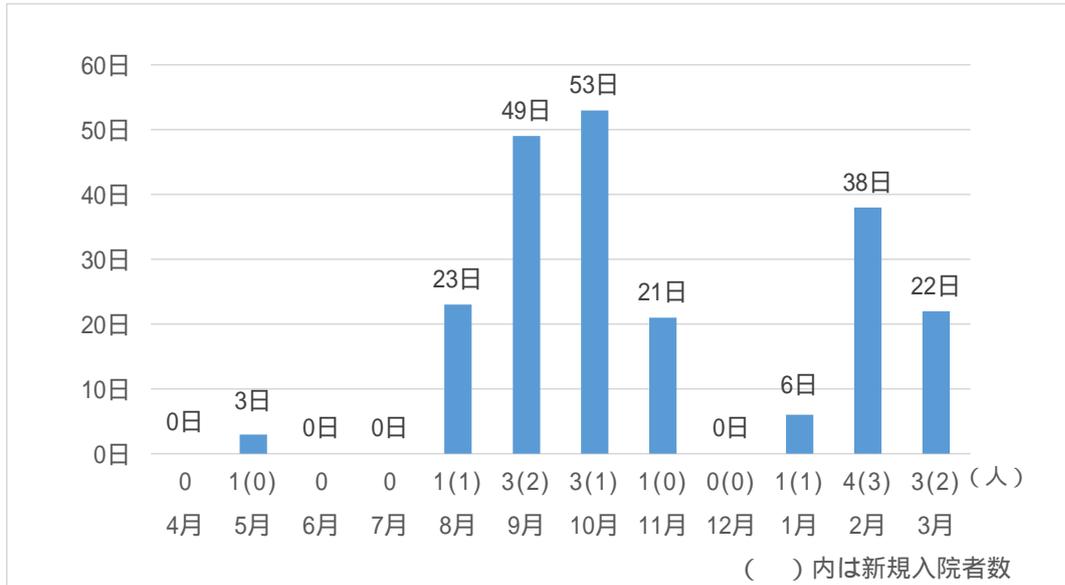
- (1) 平均介護度が1.32であり入院日数は203日、空床は44日、平均稼働率は97.7%でした。
- (2) パンフレットを更新しました。居宅のケアマネージャーにPRしましたが、医療機関へのPRが不十分でした。新規申込者は38件です。待機者は69名です。
- (3) 施設のホームページは未作成なため、法人のインスタグラムに敬老会の記事を載せてもらいました。地域への活動報告の方法を模索中です。
- (4) 勤怠管理システムの運用が不十分ですが、労働時間を把握し無駄な超過勤務の減少に努めました。業務内に事務作業を行う時間をお互いに確保できる風土づくりに着手しながら超過勤務の削減に努めました。

### 4. 事業継続管理の推進

- (1) 災害時のBCPは災害対策委員会及び高浜安立荘主催の研修に参加し、昨年度作成したものをブラッシュアップしています。またコロナに関するBCPも12月のクラスター対応を基に職員からの意見聴取を行い見直しを図っています。
- (2) 全国老協の東海北陸ブロック富山大会において、福祉避難所開設に向けた取り組みを発表しました。1月には栃木大会において継続活動内容を発表し奨励賞をいただくことができました。今後もB72カードゲームを繰り返し実施し、災害への対策を向上させていきます。

## (2) 入居者の状況

### 入院者数及び入院延べ日数



### 疾患別入院状況

	内科系				外科系	合計
	脳梗塞	胆管炎	尿路感染 脱水	その他 白内障手術 膀胱癌手術	整形外科 大腿骨骨折 上腕骨骨折	
実人数	3人	1人	2人	1人	3人	10人
延べ人数	3人	1人	2人	2人	3人	11人
平均入院日数	36.3日	35日	16日	7.5日	10.3日	

\*大腿骨骨折：100歳の方2名。1名の男性は手術後、施設での生活リハビリと歩行訓練にて歩行器での歩行が可能となった。もう1名の女性は手術はせず保存療法となったため、歩行は難しいが生活リハビリを行い、トイレでの排泄や軽介助での移乗が可能となった。

\*原因不明の急変で亡くなられた方が2名。

\*施設での看取りが2名。

今後も看取りの体制を整え、ターミナルケアに取り組んでいきたい。

### 内服の変化

令和4年4月から令和5年3月までの変化（入退居による自然変化も含む）

	令和4年4月	令和5年4月	変化
下剤服用者	14名 / 30名中	8名 / 30名中	6名減少
睡眠導入剤服用者	6名 / 30名中	5名 / 30名中	1名減少
利尿剤服用者	10名 / 30名中	10名 / 30名中	変化なし

\*下剤服用については前年度の19名から11名減少したが、自然排便を目指して引き続き水分歩行・排泄・食事 など自立支援介護に取り組んでいきたい。

## 水分摂取の状況

### 令和4年度の1日の平均値と令和3年度との比較

	R4年度			R3年度
	最小値 (ml)	最大値 (ml)	平均値 (ml)	平均値 (ml)
4月	308	2117	1268(+71)	1197
5月	405	2015	1460(+316)	1144
6月	691	2229	1475(+289)	1186
7月	730	2401	1630(+349)	1281
8月	936	2469	1599(+343)	1256
9月	682	2735	1670(+490)	1180
10月	727	2697	1620(+447)	1173
11月	665	2536	1597(+412)	1185
12月	860	2175	1488(+334)	1154
1月	1035	2313	1619(+391)	1228
2月	1107	2696	1732(+521)	1211
3月	982	2706	1817(+525)	1295

令和3年度のひと月の平均値と比較すると、令和4年度は月平均71ml～525ml、水分摂取量を増やすことができた。その要因として下記の工夫があげられる。

1. 起床時に水分提供を行った。そのことにより、朝食時に水分をおかわりされることが多くなった。
2. 入浴前後、歩行訓練直後に水分補給を促した。
3. 提供を促しても水分摂取が少ない方は環境を変え、ベランダに長イスを出して入居者同士おしゃべりを楽しみながらお茶を飲んで頂いた。
4. 水分摂取量の少ない方で環境を変えても摂取量が増加できなかった方はご家族に協力して頂いて昔から好みの飲み物を持参して頂いたり、外出の機会に喫茶店などで楽しい時間を過ごして頂いた。
5. 水分提供時、普段使用してるコップ以外に好みのコップを用意し、少しでも沢山水分が摂取できるようにした。

今後は水分摂取量が1500ml以下の方などに対して歩行などの活動量を増やし、摂取量の増加につなげたい。

## 歩行の状況

昨年度より、入居者の歩行運動への意欲が向上し、積極的な歩行の取り組みが確立出来た。外出時出来るだけ歩行を意識し、施設から約500m離れている専修坊までしだれ桜を見に行ったり、エコ活動で、ペットボトルのキャップを高浜エコハウス（約500m先）まで歩いて持っていきました。また、施設内にあるエアロバイクや機器を使用した運動も取り入れ、日替わりで行うことで継続出来るように工夫をしている。

## 給食の状況

### 提供方法

大仙産業株式会社によるセントラルキッチン方式であり、クックチルを導入し提供している。

嗜好調査を行ない、その結果を基にアレルギーや嗜好にも対応し、代替え食も提供している。副食の形態にはムース食やミキサー食があり状態に合わせて提供可能である。

主食は各フロアで炊いており、粥食も提供可能であり、軟飯なども臨機応変に調整できている。週2回は朝食でパンを提供しているが、ご飯の選択も可能。イベント食やおやつ会なども実施している。

### 栄養計算

(令和4年度平均値)

	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	食塩 (g)
1日の平均値	1399	48.4	34.3	214.1	5.0

おやつは15時に提供(饅頭・クッキー・せんべいなど) 約80kcal/食

### 食事形態

(令和5年3月31日現在)

	普通食	普通食以外	備考
主食	30名	なし	
副食	30名	なし	

### 回想法実施状況

(参考:第2回目プログラム)

回	テーマ	
1	自己紹介・故郷の話	家族会において回想法の取り組みを発表。テーマに沿った物品を実際に観て頂いたり、認知機能評価スケールについて説明した。参加者個々の目標を提示し、回想法の成果等について具体的な説明をおこなった。実際に行っているビデオを見て頂き、雰囲気をお伝えすることもできた。市内の認知症カフェにも参加し回想法を体験していることを伝え、施設の取り組みを伝えることができた。
2	朝の食卓	
3	子どもの頃の遊び	
4	家のお手伝い	
5	お父さん・お母さん	
6	故郷のお祭り	
7	学校の思い出・先生の思い出	
8	秋の収穫・おやつ	
9	むかしの家・まわりの風景	
10	お仕事	
11	楽しかった話等の振り返り	
12	昭和で元気になるカフェに参加	

(3) 年間行事実施状況

	行事の内容
4月	焼きそばとお味噌汁作り
5月	とりめしと牛乳寒天作り
6月	おやつ会(くず饅頭)
7月	七夕会、すいか割り
8月	納涼祭
9月	敬老会(家族会兼ねる)
10月	運動会(3階のベランダにて)
11月	外出(菊人形、フローラルガーデン、丈山苑、スシロー)
12月	クリスマス会
1月	書初め、初詣散歩、もちつき
2月	節分会
3月	お花見(専修坊、コメダ、スシロー、神社、よさみ公園)

(4) 月間予定表

月	火	水	木	金	土	日
非常連絡訓練	訪問理美容					かもめ会清掃
往診		事故防止委員会	往診	往診	おやつ会	回想法
オムツ注文 日用品購入			訪問歯科			
事故防止委員会		防災・感染症委員会				回想法
		誕生日会				
運営会議	介護力向上講習会			回想法委員会 3階フロア会議		回想法
オムツ注文 日用品購入			訪問歯科			
往診 2階フロア会議				介護力向上委員会		回想法

身体拘束適正化委員会は、事故防止委員会の中を含む。

#### ( 5 ) 地域交流事業

令和 4 年度のハチドリチャレンジ参加状況：全職員が 1 回以上参加した

- \* ハチドリチャレンジとは、社会貢献活動の一環として、法人内の全職員がボランティア活動に年 1 回以上の参加を目指すこと

#### 参加したボランティア活動の内容

- 渡し場かもめ会の海岸清掃活動 毎月第 1 日曜日 8：00～9：00
- 小学校通学路の立哨活動および施設周辺のゴミ拾い  
不定期（月 1～3 回実施） 7：30～8：15
- 認知症カフェの運営補助 年 9 回日曜日 12：00～14：30
- 各自の町内の草刈りやゴミ拾い活動 随時
- 高浜市が開催するフードドライブに参加 年 2 回  
翼まち協街路美化活動参加 年 2 回
- 家庭での不用品を集めて回収している事業所に寄付するもったいないボランティアプロジェクトに参加 年 1 回
- ヘアドネーションに参加 年 1 回

#### ( 6 ) 防災訓練実施状況

実施日	実施内容	対象者	参加人数
6 月 30 日	消火設備及び消火訓練	職員 入居者	職員 7 名 入居者 28 名
10 月 17 日	昭徳会合同地震想定 避難訓練 非常食の提供及び実施	職員 入居者	職員 10 名 入居者 28 名
10 月 17 日	非常時緊急連絡訓練	職員	職員 19 名
2 月 15 日	通報訓練	職員	職員 5 名
2 月 25 日	福祉避難所模擬開設訓練 (机上訓練)	職員	職員 5 名

令和 4 年度は、10 月 17 日の昭徳会合同地震想定訓練において、地域住民（まち協）の方 1 名に参加して頂いた。その際に、発電機の使用方法などを確認することができた。当施設は福祉避難所に指定されているが福祉避難所の模擬訓練を実施していなかったため、まずは福祉避難所開設をイメージするため、防災委員会のメンバーにて机上訓練を実施した。今後は昭徳会合同地震想定避難訓練に合わせて福祉避難所開設訓練を予定しており、行政や地域住民との協働実施も計画していきたい。

## (7) 会議及び委員会報告

### 運営会議

施設長会議などの施設運営に関する情報共有及び経営上の課題について話し合った。労働安全衛生に係る意見聴取、毎月の行事や業務改善の進捗を確認。入退去検討委員会も兼ねており、待機者状況や入居予定者の情報共有を図った。

稼働率の確認や収支状況の説明も実施。法人の労働安全衛生委員会の内容を報告し、施設での取り組みを推進した。

### 事故防止委員会

毎月の事故及びヒヤリハット報告書の集計を基に重大事故や繰り返し起きている事故の対策を再検討した。同様にリスクのある入居者に見当を付けることで事故防止を図った。

### 身体拘束適正化委員会（虐待防止委員会）

年4回開催。身体拘束の必要な入居者はいないが、身体拘束につながる事例がないかを適宜確認している。また、虐待に関しても、自らの対応を振り返り自己チェックを行っている。対応困難なケースについて話し合い、施設内研修の内容を検討している。

### 感染症対策委員会

年4回開催。新型コロナウイルスへの対応策を検討した。面会方法を感染状況に合わせて変更したり、ワクチン接種への対応も検討した。クラスターとなった後には職員にアンケートを実施し、BCPについて再検討した。年間の施設内研修についても話し合い、マニュアル等の見直しもおこなった。

### 防災委員会

年4回開催。法人の災害対策委員会の報告と災害時のBCPの内容について見直しをした。福祉避難所に指定されたため、福祉避難所模擬訓練(図上訓練)を実施した。B72カードゲーム(災害発生後3日間、72時間を想定したもの)を実施し、災害をイメージしながら対策を考えることができた。防災倉庫が設置されたため、防災備品の保管場所等についての検討や発電機の作動訓練を行った。今後、地域住民参加のもと、福祉避難所模擬訓練も実施していき、福祉避難所マニュアルも更新していく。

### 介護力向上委員会

毎月の講習会の内容を伝え、知識習得のための勉強会について話し合った。施設全体の状況を確認し困難事例についても話し合った。

( 8 ) 職員研修状況

研修の時期	開催場所	内 容	対象職員	人数
10月19日( WEB )	ビデオ研修	介護保険法改正に関する研修	施設長	1
8月30日( WEB )	ビデオ研修	ハラスメント研修	施設長	1
10月28日( WEB )	ビデオ研修	ビジネスコミュニケーション	介護員	1
11月1日( WEB )	ビデオ研修	高齢者の排泄ケアの現状と特徴	介護員	1
11月16日( WEB )	ビデオ研修	エビデンスと現場実践に基づいた超 介護予防研修	介護員	1
11月16日( WEB )	ビデオ研修	介護家庭から考えるこれからの介護	看護員	1
11月17日( 外部 )	碧南市役所	栄養士研修	栄養士	1
12月6～7日( 外部 )	豊橋市	防災リーダー養成研修	介護員	1
8月28日・10月7日 ・10月25日( 外部 )	いきいき広場	BCP研修3回	施設長・相談員・看護員	3
9月27日( 外部 )	いきいき広場	介護職員研修	介護員	1
4月12日 8月25日( 法人 )	法音寺	経営管理者研修	施設長	1
7月13日( 法人 )	法音寺	エキスパート研修	看護員	1
6月23日・9月22日・ 10月19日( 法人 )	法音寺	第3回初任者研修	相談員・介護員・ 看護員・栄養士	7
10月12日( 法人 )	法音寺	高齢分野研修( 認知症 )	介護員	1
11月18日( 法人 )	法音寺	要配慮者避難誘導方法研修	相談員・看護員	2
10月1日( 法人 )	法音寺	福祉実践発表	相談員	1
5月16日( 内部 )	ケアハウス湯山安立	法令遵守について	施設長・介護員・看護員・ 栄養士・相談員	6
7月中( 内部 )	ケアハウス湯山安立	自立支援介護( 水について )	介護員・看護員	10
8月中・12月中( 内部 )	ケアハウス湯山安立	KYT研修2回	介護員・看護員	12
9月11日・25日( 内部 )	ケアハウス湯山安立	ターミナルケア2回	施設長・介護員・看護員・ 相談員・栄養士・ 調理員	20
9月29日( 内部 )	ケアハウス湯山安立	虐待防止・食中毒・地震・脳梗塞	施設長・相談員・ 看護員・栄養士・ 介護員	13
R5年3月17日( 内部 )	ケアハウス湯山安立	感染症・薬の知識・急変時の対応・ 火災の対応・認知症	施設長・相談員・介護員・ 看護員・栄養士・ 調理員	11

\* 新入職員への教育( 就業規則・個人情報保護・法令遵守・事故防止・感染予防・防災設備・記録等 )

6. 令和4年度決算・令和5年度予算報告

< 令和4年度 収支決算書 >

(単位 : 円)

収入の部		支出の部			
事業活動による収入	介護保険事業収入	71,396,629	事業活動による支出	人件費支出	75,618,968
	老人福祉事業収入	39,502,970		事業費支出	19,520,794
	受取利息配当金収入	275		事務費支出	7,662,741
	その他の収入	272,152		その他の支出	125,938
<b>事業活動収入計</b>		<b>111,172,026</b>	<b>事業活動支出計</b>		<b>102,928,441</b>
施設整備等による収入		0	施設整備等による支出	固定資産取得支出	0
	<b>施設整備等収入計</b>			<b>0</b>	<b>施設設備等支出計</b>
その他の活動による収入	拠点区分間長期借入金収入	24,200,000	その他の活動による支出	拠点区分間長期借入金返済支出	24,200,000
	退職給付引当資産取崩収入	55,800		退職給付引当資産支出	944,880
	<b>その他の活動収入計</b>			<b>24,255,800</b>	拠点区分間繰入金支出
<b>その他の活動収入計</b>		<b>24,255,800</b>	<b>その他の活動支出計</b>		<b>26,796,717</b>
前期末支払資金残取崩額		0	当期資金収支差額		5,702,668
<b>合計</b>		<b>135,427,826</b>			<b>135,427,826</b>

< 令和5年度 収支予算書 >

(単位 : 円)

収入の部		支出の部				
事業活動による収入	介護保険事業収入	75,538,000	事業活動による支出	人件費支出	82,759,000	
	老人福祉事業収入	39,049,000		事業費支出	20,687,000	
	その他の収入	134,000		事務費支出	7,324,000	
	<b>事業活動収入計</b>			<b>114,721,000</b>	その他の支出	153,000
<b>事業活動収入計</b>		<b>114,721,000</b>	<b>事業活動支出計</b>		<b>110,923,000</b>	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	0	施設整備等による支出	固定資産取得支出	261,000	
	<b>施設整備等収入計</b>			<b>0</b>	<b>施設設備等支出計</b>	
その他の活動による収入	積立資産取崩収入	180,000	その他の活動による支出	積立資産支出	918,000	
	<b>その他の活動収入計</b>			<b>180,000</b>	拠点区分間長期借入金返済支出	300,000
	<b>その他の活動収入計</b>			<b>180,000</b>	拠点区分間繰入金支出	1,841,000
<b>その他の活動収入計</b>		<b>180,000</b>	<b>その他の活動支出計</b>		<b>3,059,000</b>	
前期末支払資金残高		35,223,000	当期資金収支差額	予備費	658,000	
					35,223,000	
<b>合計</b>		<b>150,124,000</b>			<b>150,124,000</b>	

## 7. 令和5年度 事業計画書

### 1. 事業運営基本計画（事業目標）

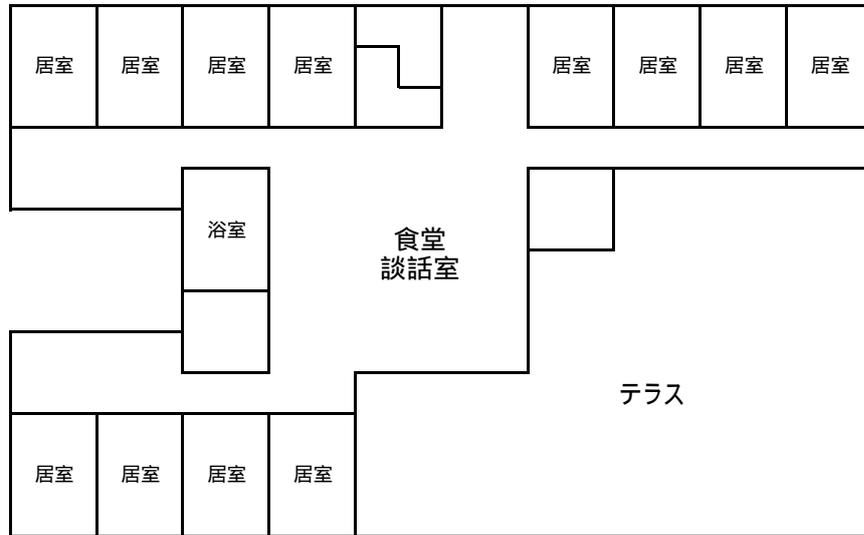
- (1) 「基本理念」等の実践による質の高い福祉サービスの提供
- (2) 職員の資質向上とやりがいの感じられる業務体制の構築
- (3) 安定した収入と適切な労働管理
- (4) 事業継続管理の推進

### 2. 具体的計画

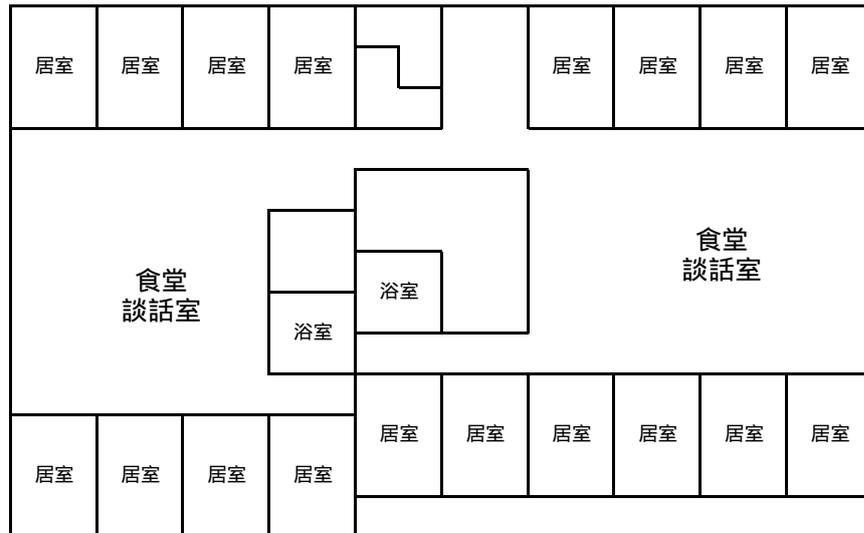
- (1) 「基本理念」等の実践による質の高い福祉サービスの提供  
昨年度実施した第三者評価における満足度調査の結果と B 評価の項目の改善に取り組む。  
『職員行動指針』の具体例を全職員が考案し、毎日一つずつ朝礼で唱和するとともに館内掲示により意識づけを図る。  
回想法及び自立支援介護の提供と評価について施設内外に報告する  
セントラルキッチン業者を交えた給食会議を定期的開催することにより、食事提供のサービス向上を図る。嗜好調査を行い献立に反映できるように依頼する。  
入居者を交えた社会貢献活動を行う。（ハチドリチャレンジの継続・フードドライブの実施）  
福祉避難所の模擬開設訓練を行政、地域住民と協同で実施する。  
地域交流センターを活用し社会貢献を推進するとともに、入居者の社会参加につなげる。
- (2) 職員の資質向上とやりがいの感じられる業務体制の構築  
法人内研修及び外部研修に参加し、施設内において伝達研修を実施する。  
自立支援介護の基本ケアについて施設内研修を開催する。講師は職員が行いミニテストなどで理解度を確認する。  
自立支援介護のデータ収集により自施設の状況を客観的に分析する力をつけると共に成果を報告する機会を作る。  
回想法、外出支援、おやつ会などの行事の実施により、入居者の笑顔を引き出す。
- (3) 安定した収入と適切な労働管理  
平均介護度が 1.6 以下の状態であれば入院日数を減らし稼働率 99% を目標とする。平均介護度が上昇すれば入院の可能性も増えるため稼働率 97% を維持する。  
入居申込者を増やすため、市内の商業施設や宅老所及び町内会やまちづくり協議会、ケアマネージャーや老人保健施設、近隣の医療機関への PR を行う。  
勤怠管理システムを活用し、労働時間の把握と超過勤務の減少を図る。  
業務改善により事務作業の時間を業務内に設ける。
- (4) 事業継続管理の推進  
計画的な防災訓練を実施する。  
災害時及び感染症まん延時の BCP の定期的な見直しを行う。  
契約書、重要事項説明書、運営規程及び各マニュアル等の見直しを行う。  
『頻度の少ない業務』のリスト化を行う。  
計画的な修繕及び施設管理を行う。  
事業形態の変更の可否について収支状況及び地域の需要を把握し検討する。

## 8. 施設内図面

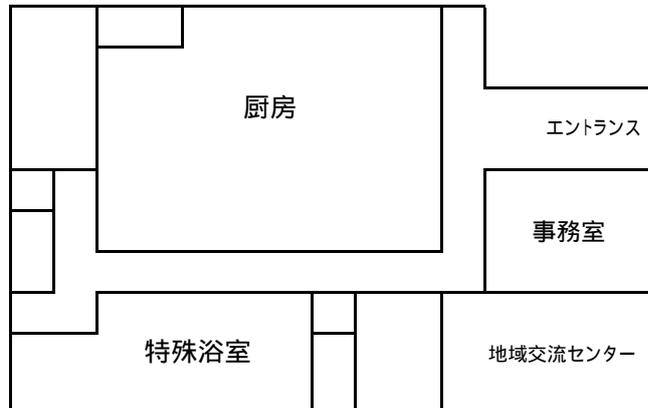
### 施設内図面 3階



### 施設内図面 2階

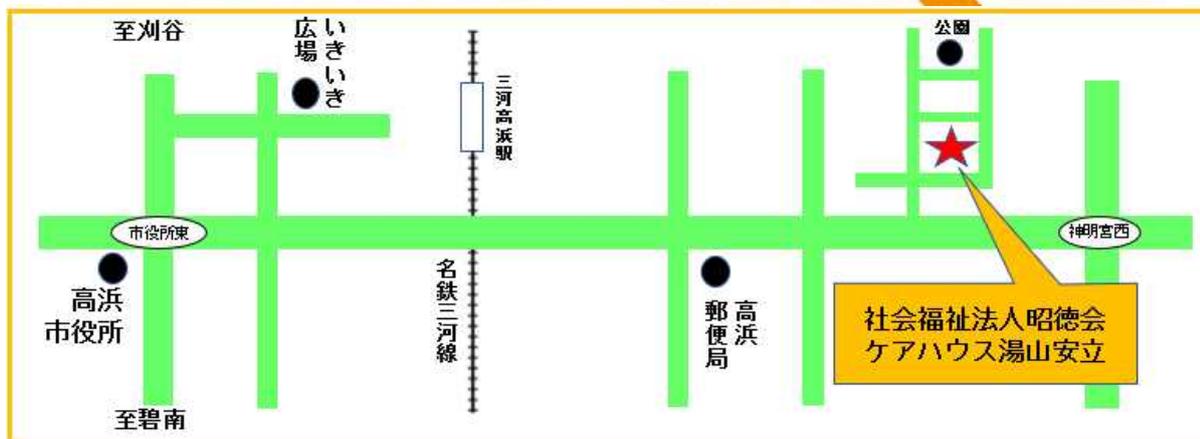
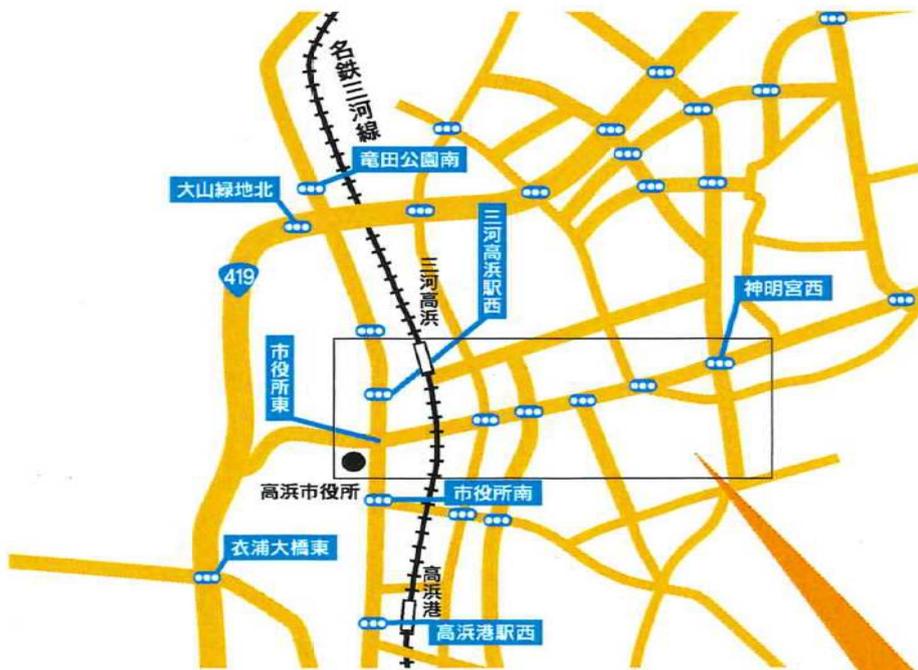


### 施設内図面 1階



## 9. アクセス

### アクセスマップ



#### お車にてお越しの場合

知多半島道路・南知多道路にて、阿久比 IC 下車 高浜方面へ 高浜市役所  
安城方面へ 中央公民館東交差点から約 300m を北へ(案内図参照)

#### 公共交通機関を利用してお越しの場合

名鉄三河線、三河高浜駅下車徒歩 15 分程度

ケアハウス湯山安立  
高浜市湯山町 5-7-5  
0566-54-5011